

日本の観測所めぐり (10)

名古屋大学空電研究所

所在地 〒442 愛知県豊川市穂ノ原 3 丁目 13 番地

電話 05338—6—3154

附属施設 母子里観測所, 鹿兒島観測所, 佐久島観測所, 太陽電波世界資料センター, 富士観測所 の五施設

道 順 空電研究所

○豊橋駅表口より豊川駅前行きバス約 30 分で, 豊川体育館前下車, 徒歩 (25 分) またはタクシー.

○豊橋駅表口または西口よりタクシー 30 分.

○東名高速道路豊川インターより車で約 10 分.

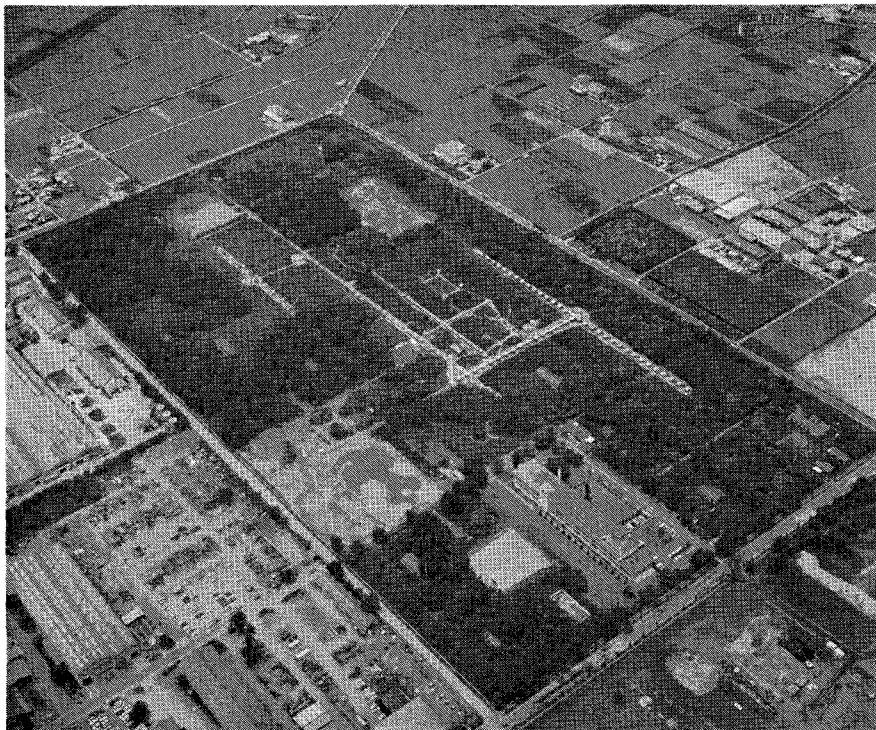
沿革, 観測装置, 見学等

空電研究所は, 空電に関する研究を強力に推進することを目的とし, 昭和 24 年 2 部門をもって創設された. 当初は, 雷を主とする大気中の放電現象から放射される電波, すなわち狭義の空電を中心として研究がすすめられた. その後研究の進展に伴い, 7 部門に増強され, 研

究の内容も広義の空電, すなわち広く自然界から発生する雑音電波へと拡張された. 現在では, 大気圏, 電離層, 磁気圏, 惑星間空間, 太陽, あるいは更に遠い宇宙空間を研究の対象としていて, 他の研究機関との密接な連絡の下に, 宇宙科学の研究に重点が置かれている. 大気微量成分, VLF 放射, 太陽風, 太陽電波, 宇宙電波等の研究はこれらに含まれる. 雷放電, 空電の統計的研究等も総合的に引き続き行われている. 豊川キャンパスにおいては, 電磁雑音環境の影響から現在は太陽電波, 太陽風シンチレーションの観測のみが行われている. これらの為の観測装置としては, 波長 8 cm と 3 cm の電波干渉計及び太陽電波写真儀 (T 字型アレイアンテナ), 4 周波の電波強度偏波計と UHF 太陽風観測装置 (327 MHz シリンダーパラボラアンテナ) 等がある. 上に記述した附属施設には VLF 帯のアンテナ及び受信装置, 太陽風観測装置等が設置されている. 豊川キャンパスにあるこれらの観測装置を見学することを希望される方は太陽電波または太陽風の研究担当者, あるいは庶務掛まで郵便, 電話で連絡下さい.

休日の見学は原則としては断ることにしています.

(観目信三)



昭和 61 年 9 月 20 日 発行人 〒181 東京都三鷹市東京天文台内
印刷発行 印刷所 〒162 東京都新宿区早稲田鶴巻町 565-12
定価 450 円 発行所 〒181 東京都三鷹市東京天文台内
電話 三鷹 31 局 (0422-31) 1359

社団法人 日本天文学会
啓文堂 松本印刷
社団法人 日本天文学会
振替口座 東京 6-13595